

特集「栃木県青少年育成県民会議表彰」優良青少年団体の紹介 ～佐野日本大学短期大学 総合キャリア教育学科 こどもフィールド～

私たち佐野日本大学短期大学こどもフィールドは、「キッズプラザさのたん」という子育て支援活動を年間で20回実施しています。このキッズプラザさのたんでは、地域の家庭保育をしている乳幼児とその保護者を対象とし、本学保育ルームの開放と、幼稚園教諭や保育士を目指す学生によるあそびの提案やおもちゃの製作活動、更には看護師による育児相談や発達相談等を行っています。



本活動の目的は大きく3点あります。1点目は、本学保育ルームの開放を通して、利用される方々が安心して過ごせる空間を提供すると共に、保護者間での交流やリフレッシュできる機会をつくることです。

2点目に、本学で保育や教育について学んでいる学生が、実践の場として経験を積み、学ぶ機会を作ることです。また、利用している親子との触れ合いを通して、乳幼児と関わる力の向上

と、子育て支援に関する基礎的理解を深めることを目指しています。

3点目は、本活動を通して本学が持っている資源（人材・環境・知識等）を活かし、佐野市を中心とした近隣地域に貢献することと地域活性化、そして子ども達の健やかな未来を支えることを目的としています。

本活動の実施時期は、大学の長期休みと学生の実習期間を除いた5月、7月、10月、11月、12月の毎週水曜日の午前10時～12時の2時間行っています。その他にも、本学文化祭の「みかも祭」開催期間にも実施をし、毎年多くの親子連れで賑わいます。



本活動の具体的な内容として、自由遊び時間の他に、学生が企画した活動を実施しています。内容は、季節や子ども達の発達段階に合わせて学生が毎回趣向を凝らして企画しており、親子で楽しめる内容になっています。例えば、夏には魚釣りゲームやアイスクリームの製作活動を行い、冬にはクリスマスリースづくりを行うなど、季節感を味わえるような工夫をしています。また、新聞紙や紙皿など身近な素材を使い、家庭でも簡単に作れるおもちゃ作りや、親子での触れ合いあそび、音楽を使ったリズムあそびなど、子どもだけでなく大人も一緒に楽しめる時間と空間の提供を心掛けています。

キッズプラザさのたんを運営していくにあたり、私たちがこれまで一貫して大切にしてきたことは、「子どもと保護者の心に寄り添う」ということです。利用者目線に立った適切な支援や配慮を心掛け、「また来たい」と思ってもらえるような居心地の良い空間・雰囲気づくりに学生一同取り組んできました。

2008年より始まった本活動も、今年で11年目を迎え、これまで多くの方々にキッズプラザさのたんを利用して頂きました。数年に亘りご兄弟で本学に通って頂いたご家族や、本学卒業生がお母さんになり訪れてくれるなど、これまでに様々な出会いやエピソードがこの場から生まれました。これからも心に寄り添う支援を大切にし、地域の子ども達とその保護者の皆様に長く利用して頂ける「キッズプラザさのたん」を目指していきたいと思っております。

2008年より始まった本活動も、今年で11年目を迎え、これまで多くの方々にキッズプラザさのたんを利用して頂きました。数年に亘りご兄弟で本学に通って頂いたご家族や、本学卒業生がお母さんになり訪れてくれるなど、これまでに様々な出会いやエピソードがこの場から生まれました。これからも心に寄り添う支援を大切にし、地域の子ども達とその保護者の皆様に長く利用して頂ける「キッズプラザさのたん」を目指していきたいと思っております。

